

# やまゆり

学校だより

令和5年2月6日  
83号  
学校長 杉本賢二

校訓 「和の心」  
学校教育目標 「社会に貢献しながら自立する生徒の育成」一気づき・考え・実行するー  
校内研究主題 「WEBQUを活用し学級の安定と活性化を図る」

学校教育重点目標 「 確かな学力の育成 」

## 3年生が1名、志望校から内定を頂きました

2月3日(金)に、3年生1名が志望高校から内定を頂きました。3年間の成績や当日の筆記試験や面接等の努力により、希望をかなえることができました。おめでとうございます。

今後も高校への志望動機を忘れず、努力し続けて将来の夢をかなえて下さい。

学校教育重点目標 「 保護者との連携 」

## 授業参観・学年懇談会への参加ありがとうございました

2月2日(木)の5校時に「授業参観」を行い、その後各学年の教室で「学年懇談会」を行いました。お忙しい中ご都合をつけて頂き、多くの保護者の皆様に参加して頂きました。ありがとうございます。

最後の授業参観を終えて、保護者の方々から「とても成長が感じられた」という声をたくさんいただきました。

生徒一人一人が目標を持って日々努力してきたことや、各学年職員、教科担当が丁寧な指導をしてきたこと、保護者の方々の学校教育への理解や家族で生徒を支えて頂いたこと、行政や地域の方々の協力等の成果だと思えます。

以下に当日の保護者や生徒の声を紹介します。

### 保護者の声

- コロナ禍で、しかも受験前でもありましたが、生徒の学習の様子を対面で参観させて頂きとてもありがたかったです。お陰で、生徒の表情や学級の様子を肌で感じる事ができました。
- 1・2年生は学年を超えて一緒に合唱練習をしていました。2年生がリーダーシップを発揮し、1年生も良くそれに応えていました。3年生に贈る会のために、一体となってより良い合唱を創ろうとしている姿に感動しました。
- 最後の授業参観でした。3年間の子供たちの成長を、家族への感謝と卒業式への決意で強く感じる事ができました。今までのご指導、ありがとうございました。

### 生徒の声

- 合唱練習の中で、2年生が1年生に励ましのことばをかけてくれました。また、2年生に励ましのことばをかけていた1年生もいました。今日の目標である、「お互いに励まし合う」を達成

できていたと思います。ことばをかけてもらい、不安感や緊張感が無くなり、頑張ることができました。

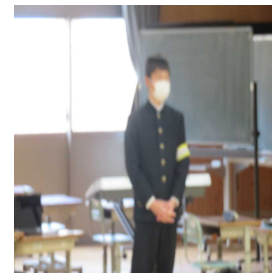
○ 2年生として主体的に活動できたと思う。しかし、全員の気持ちを高めたり、主体的な行動にはまだ課題もあるので、次の練習で努力していきたい。

## 1・2年生の「3年生に贈る会に向けての合唱練習」(特別活動)の様子

気持ちを高めて集合



パートリーダーの3名 舞桜さん・絢香さん・嶺さん



生徒会長 景己さん



今日の目標

・「うまくいかないことがあってもお互いに励まし合う」ことを目標として設定。

1・2年生の活動を参観する保護者の皆さん



ソプラノの活動の様子



アルトの活動の様子

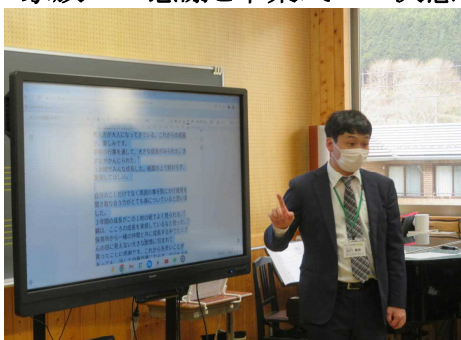


テノールの活動の様子



## 3年生の特別活動の様子

家族への感謝と卒業式への決意



保護者の思いに触れ、感謝のことばを記す生徒



無言で家族への思いを綴る生徒の様子



参観する保護者の様子



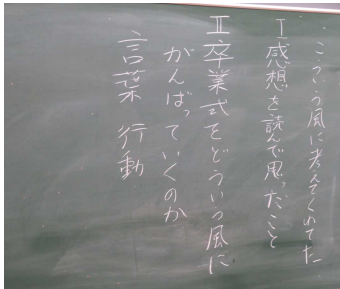
家族への思いを班の中で発表し、共有する生徒の活動



卒業式への決意

一人一人が発表

主な生徒の意見



- 群読や合唱で頑張り、感謝の思いを伝える
- 先ず受験で頑張り、感動の卒業式にする。
- クラスのみinnで協力して思いを伝える。
- 返事や挨拶、笑顔、ことばを大切にする。

☆功刀先生: 卒業式はみなさんの心と姿勢を最後に見せられる場。「成長した、大人になった」と思ってもらえるような式にしてほしい。

1年生の懇談会の様子



2年生の懇談会の様子



3年生の懇談会の様子



保護者のご質問への回答

- ①新制服の補助金は、2・3年生の「夏のポロシャツについて審議中」。2・3年生の新制服についての「補助金は出ない」とのことです。理由は、2・3年生の希望者が2名と少なかったからです。
- ②2年・3年の制服の夏服は、現状のズボン・スカートに新制服のポロシャツ可能です。
- ③「3年生に贈る会」は、保護者のコロナ対策を徹底して保護者も参観可能の予定です。
- ④ご理解下さい。3年生の修学旅行は、昨年から3月も予定に入れています。コロナ禍で機会を増やすこと、4月は多忙であり、5月はG7サミットで広島へ行くことができません。人事の大異動も予想され、校外学習での安心・安全確保(下見実施済)や生徒理解の高さの観点もあります。

## 生徒の努力と教職員の指導の成果(校内研究の特徴や成果)

### 全国の小規模校の主な課題

- 全国の小規模校の学力や表現力は、低い傾向にある。
- 小規模校は差別やいじめのリスクが高い傾向がある。
- 上記の課題は、「固定した人間関係の序列や同調・付度による安定」が大きな要因。
- 教職員は、管理職も含めて1年から2年で異動し、継続した指導が困難。

### 本校の校内研究の特徴や成果

- 1 学年担任制も採用し、全職員で個人と集団の実態に応じた組織指導の実践。
- 2 観察・面接・標準化検査WEBQUのデータ(一人50項目以上)を「共通指標」として活用。
- 3 いじめ・不登校等の命や人権に関する事項は指導の最優先事項として、校長を中心に組織で対策を考えて迅速に対応をしている。24時間以内に事実関係を調査し教委へ報告。
- 4 WEBQUを開発した早稲田大学河村茂雄研究室の全面的バックアップにより、指導・助言相談ができる体制を構築している。(県内1校、全国でも数校しかない研究体制)
- 5 「ルールの確立と人間関係の充実を徹底」することによって、小規模校の弱みを改善・克服し、「強み」を生かして教育成果を実証的に出している。

※研究開始からこの2年間、不登校やいじめ、学級の荒れ等の大きな諸問題は無い。  
※学級・学校への生徒の満足度は、山梨県や全国でもトップレベル。今後もさらに継続。  
※生徒の主体的活動や質の高い教育活動によって新聞や役場からも高く評価されている。

- 6 「学級の安定」を基盤に「学習指導で主体的な活動」を実践し、「学力保障」と異学年・全校の縦割り活動ができるように指導している。

※「安定や集団の活性化」を、具体的に実践できる学校は少ない。  
※学校全体で安定と活性化を推進し、教育成果を出している学校は全国でも少数。

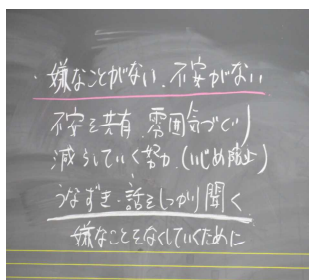
- 7 固定した人間関係の付度と同調を打破していくためには、「高い目標をもち、高め合う人間関係や言動」を大切に指導をしている。

※集団の「安定」を基盤に、「入試や社会で通用する力(非認知能力)」の育成を重視。  
※「楽しさ」や「やりたいこと」だけをやっていたのでは、集団は低下する。質の高い価値ある活動で、「新たな気づきや発見」を大事にしながら成長させる。(河村研究室の指導)

- 8 指導する「教職員の主体性と協働性」を大切にする。

早稲田大学 高橋先生指導

笠田T 安定の指導



1年の主体的発言可能



一斉に大勢が挙手

